

標 題 : Mediterranean diets, antioxidants and cancer: the need for randomized trials
地中海食事、抗酸化物および癌 : ランダム化試験の必要性

著 者 : M. A. Martinez-Gonzalez and R. Estruch
(スペイン ナバラ大学 医学部 疫学公衆衛生学科)

掲 載 誌 : Eur. J. Cancer Prev. 13: 327-335 (2004)

要 旨 : 栄養疫学で伝統的な方法は単一の栄養素または食品を評価することである。現在、食事パターンに関心が増えている。食事全体を取上げる食事パターンの研究は必要で補足的な方法論を意味する。元々定義されたパターンの中で、とても美味しい伝統的な地中海食事は癌の食事予防として最初に選ばれる多くの選択肢を有する。しかし、最も頻繁に起こる癌を予防するその能力に関する妥当な疫学的証拠は少ない。大規模でよく計画されたコホート研究と併せて、単なる抗酸化物栄養補給でなく食事全体を取上げるランダム化試験が地中海諸国で必要である。

キーワード : 生態学的錯誤、フラボノイド、低脂肪食事、1価不飽和脂肪、オリーブ油、ポリフェノール、残差交絡
